

今回、初めてマルメ研修に参加しました。ダン・エリクソン先生のお話を直接聞いたことが1番の収穫でした。診査診断、特に切削介入時期の見極めに関しては改めて歯科はサイエンスであると確信出来ました。研修前は、どこかスウェーデンは恵まれていて、日本は保険制度のせいで不遇だ、と思っていましたが、実際にはスウェーデンにはスウェーデンの問題があり、隣の芝が青く見えていただけなのかなと感じました。患者教育については、同じように苦勞をし時間をかけたり、ツールを使ったりと、共通部分もたくさん見えました。人間行動学に基づいた患者教育に関してはもう少し具体的に聞きたかったです。日本の制度も問題もあり、腹も立てておりましたが、保険制度の使い方、付き合い方がより重要ではないか?と考えられるようになりました。また、最後のパーティーで宮本先生のスピーチにあった「第三者に仕事の値段を決められる事が、本当にストレスだ。」との内容がありましたが、本当に共感できました。今回の研修で得た内容で多くの部分を占めていたカリエスの発症前診断、リスク評価、管理は日本の保険制度の範囲で行うには無理があると感じ、やはり今後日本では予防メンテナンスは自費でやるべきだと確信いたしました